

2022年5月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一部で持ち直し、消費関連や観光関連で持ち直しの動きがみられ、雇用情勢が横ばいとなっている。一方、畜産関連は弱含み、投資関連は一部で弱含んでいる。行動制限の緩和などで、全体として回復に向けた動きがみられるものの、海外情勢や急激な円安などの影響で下振れするリスクは残る。

生産活動は、2月の鉱工業生産指数が5か月ぶりに前年を上回った。食料品は前年同水準、窯業・土石製品、電子部品デバイスは共に前年を上回った。

畜産関連では、4月の肉用牛（和牛）枝肉価格は去勢A4、A3共に前年を下回り、豚肉、ブロイラーむね肉相場は前年を上回った。一方、ブロイラーもも肉、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、3月の百貨店・スーパー販売額、専門量販店販売額共に前年を上回ったものの、4月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数共に前年を下回った。

観光関連では、4月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、5か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を下回ったが、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を上回った。

雇用情勢は、3月の有効求人倍率は前月と同水準となった。

【生産活動】... 一部で持ち直し

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連が好調に推移している。ただし、ウクライナ情勢や上海のロックダウンなどの影響で、先行きに不透明感がある。

3月の焼酎生産は3か月連続で前年を上回り、出荷量は3か月連続で前年を上回った。

2月のかつお節生産は、6か月連続で前年を下回った。

4月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが3か月連続で前年を下回り、民間工事向けは6か月連続で前年を上回り、全体では3.8%減と2か月連続で前年を下回った。

4月の紙パルプ生産は、3か月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギ、ヒノキ共に前年を大きく上回った。

【畜産関連】... 弱含み

4月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。4月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4、A3共に前年を下回った。3月の枝肉生産量は2か月連続で前年を下回った。

4月の豚肉相場は前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年を下回った。

4月のブロイラー相場は、もも肉は前年を下回り、むね肉は前年を上回った。3月の処理羽数は前年を上回った。

4月の鶏卵相場は前年を下回った。3月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 持ち直しの動き

3月の百貨店・スーパー販売は衣料品がほぼ前年並み、飲食料品が前年を上回り、全体では6か月連続で前年を上回った。

3月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

4月の乗用車新車登録台数は、半導体不足や部品供給減少などの影響により、8か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は25.2%減、小型車が24.7%減となった。4月の軽自動車届出数は11か月連続で前年を下回った。

【観光関連】… 持ち直しの動き

4月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、行動制限緩和などにより人の動きが活発になり、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、5か月連続で前年を上回ったものの、水準は低い状態が続いている。

鹿児島地区^注は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、6か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、6か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、九州、関東などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、4か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は4か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は2か月連続で前年を上回った。

4月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回ったが、全体的に低水準で推移している。

【投資関連】… 一部で弱含み

4月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を下回った。

3月の民間建築工事着工は、棟数は前年を下回ったが、床面積、工事費予定額は前年を上回った。

3月の新設住宅着工戸数は持家は前年を下回ったものの、貸家、分譲は前年を上回り、全体では4か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は2か月ぶりに前年を上回り、2.2%増となった。

3月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、6か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】… 輸出額、輸入額共に前年を上回った

3月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物、木材が前年を下回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙が前年を上回り、全体では154.7%増と2か月ぶりに前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で99.3%増と12か月連続で前年を上回った。

^注 鹿児島・奄美地区は新型コロナ療養施設を除く

【雇用情勢】 ... 横ばい

3月の有効求人倍率は前月と同水準の1.34倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸売業・小売業は前年を下回ったものの、製造業、建設業、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

2月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年と同水準

4月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（6件）と同水準だった。また負債総額は4億96百万円で前年同月（2億52百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)